



自治体と大学の協創による 保育を核としたまちづくり構想

秋田喜代美

発達保育実践政策学研究拠点 産・官・学の連携 初年度

②「スマート保育システム」の構築

- 睡眠のセンシングと突然死症候群の検出（「見守り保育システム」の開発）
- “質の高い保育”のセンシングと可視化

- IoT技術を利用した生体・発達ログの収集と先端技術を用いた解析
- アプリやウェアラブル装置の開発
- 環境と生体情報の統合的データの収集とAIを用いた解析・モデル構築

超スマート社会に向けた21世紀型先端的子育て保育研究

③科学的根拠に基づく産官学協創プラットフォーム

“子labo(コロボ)”
研究成果の事業化・人材活用・社会貢献
未来の子育て・保育へ。
子ども子育てに関する課題の共同探求の場“シェア・ラボ”

①生涯にわたる幸福と健康の基礎を育む乳幼児期の心身発達プロセスの解明

- 大規模親子ペアデータの長期継続的収集と解析
- 実験室での徹底的研究（生体・運動指標、認知・非認知能力の発達指標の収集）
- アプリ等を利用した食・睡眠・活動ログの収集

縦断・継続的なデータ収集を通じた発達・変化の追跡と、ビッグデータに基づく諸要因間の因果関係の解明

④ワーク・ライフ・バランスに関する研究と研修システムの開発

《連携企業》
・子どもや子育て、保育に関心のある企業
・次世代育成に力を入れている企業

先端的技術
企業独自
の視点・課題意識

《東京大学》
-総合大学としての強み

発達保育実践政策学センター (Cedep)
発達基礎
子育て保育
政策
人材育成

《国内外の連携ネットワーク》

国・自治体
各種団体
海外連携機関
国内連携機関

「発達保育実践政策学」：新たな統合学術分野の確立

- 乳幼児の発達や保育・幼児教育の実践、そのための政策に係る学際的研究を推進
- 社会科学、人文科学、自然科学までをカバーするあらゆる学問領域の専門家、子育て・保育に関わる実践者、地域の人々、行政、企業等の参加と協働の場の構築



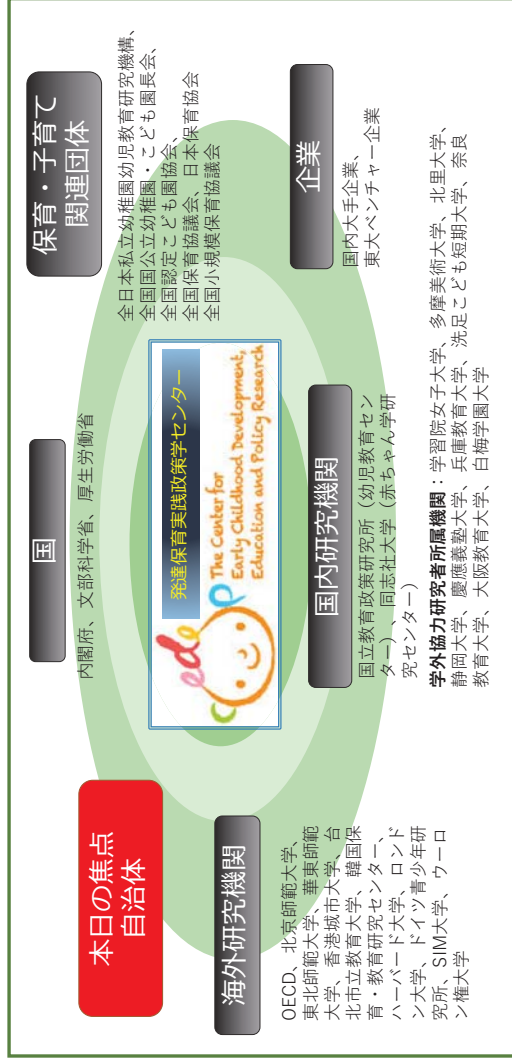
あらゆる学問は保育につながる

社会実装：保育実践に関する協働研究 園一自治体・団体一国とのシステム協働



乳時期からの子どもを中心としてあらゆる人の幸せと希望のためのまちづくり

知識基盤社会におけるNetworks of network の形成による
保育に関わる知の構築



様々な自治体との連携

文京区(研究交流協定)



2017

千代田区



2018

渋谷区との保育・教育・研究交流連携事業
に関する協定 2018年2018年5月2日



2020年秋
渋谷区立渋谷保育園の
新築拡大と共に
日本で最初の乳幼児保育
に関わる学術共同研究の
ための東大連携保育園の
設立に。
東大渋谷子ラボ保育園
(通称)

乳児からの保育と研究を共に考えるために

- 1876(明治9)年 11月16日 お茶の水女子大学附属幼稚園開園
その後全国に附属幼稚園が設置される。142年の歴史
しかし国立大学附属保育園は1園もない。
- 保育者養成に関わる私立大学では幼稚園、保育園を設立。
昭和42年 東京家政大学ナースリールーム 山下俊郎
●国立大学内に福利厚生のための保育園は創られてきたが、研究のための園は少ない。
東京学芸大学子ども未来研究所によって2013年 学芸の森保育園開園
2016年 文京区立お茶の水女子大学こども園(区民への質の高い教育・保育の提供、こども園の教育・保育内容についての研究開発と発信、実習やインターンシップの場として大学生の受け入れ)
- 東大子ラボ保育園 教育保育システムについての研究開発、園ネットワーク形成による研修体系の形成

多様性をいかした
保護者地域参画の保育



渋谷区で最初に創られた渋谷保育園

昭和24年9月1日



昭和35年 園舎改築(鉄筋コンクリート)



近隣企業との連携 屋上農園での収穫



おとなりサンデー 6月第一日曜日



子ども共同研究の方向性

園のシステム全体のあり方を、未来志向で共に考えていく

園の保育のプロセス

園の保育環境

園と保護者、コミュニティとのコミュニケーションシステム

園の安全管理システム 食、睡眠、運動

園の研修と資質向上ー渋谷区就学前教育プログラムにもとづく共同研修、

園間ネットワーク 渋谷大学子育て編

情報化社会：選択判断によって最小限の最適情報をどのように選択し活用できるか、専門性を最大限生かしつつ、それを最大限サポートすることで保育の実時間保障を以下にしていくなかを考えていく。

子どもの声、保護者、保育者の声を街に届ける